

平田 重和 教授略年譜

- 1937年（昭和12年）9月 京都市伏見区に生まれる
- 1956年（昭和31年）3月 北海道立北見北斗高等学校卒業
- 1960年（昭和35年）4月 大阪市立大学文学部フランス文学科入学
- 1964年（昭和39年）3月 同 卒業
- 1964年（昭和39年）4月 大阪市立大学大学院文学研究科フランス文学専攻修士課程入学
- 1966年（昭和41年）3月 同 修了
- 1966年（昭和41年）4月 大阪市立大学大学院文学研究科フランス文学専攻博士課程入学
- 1969年（昭和44年）3月 同 所定単位取得後退学
-
- 1969年（昭和44年）4月 天理大学外国学部専任講師（1970年3月まで）
- 1970年（昭和45年）4月 関西大学文学部専任講師（1973年3月まで）
- 1973年（昭和48年）4月 関西大学文学部助教授（1980年3月まで）
- 1973年（昭和48年）7月 フランス政府招聘によるスタージュに参加
言語・文学の研修を受けるかたわら資料収集調査研究に従事（1974年3月まで）
- 1980年（昭和55年）4月 関西大学文学部教授
- 1989年（平成元年）8月 フランスを主として、アルジェリア、ヨーロッパ各地を資料収集（同年9月まで）
- 1993年（平成5年）7月 関西大学在外研究員として渡仏、資料収集・調査研究に従事（同年10月まで）
- 1998年（平成10年）7月 関西大学在外研究員として渡仏、資料収集・調査研究に従事（同年9月まで）

- 1969年（昭和44年）4月 関西大学文学学部非常勤講師 第二部教養
フランス語担当（1970年3月まで）
- 1969年（昭和44年）4月 大阪経済大学非常勤講師 教養フランス語
担当（2004年9月まで）
- 1964年（昭和39年） 日本フランス語フランス文学会会員入会
- 1977年（昭和52年）4月 同学会内スタージュ運営委員（1979年3月
まで）
- 1987年（昭和62年）4月 同学会内資料調査委員（1990年6月まで）
- 1983年（昭和58年） 日本カミュ学会会員

平田 重和 教授研究業績

著書

Jules Verne 著 *Robert le Conquérant* の注釈 (編著単) (1987年 4月
エディション・フランセーズ (駿河台出版社))

R・シャンピニイ著 カミュ『異邦人』のムルソー — 異教の英雄論
— (翻訳) (1997年 5月 関西大学出版部)

カミュの思想と文学 — アンガージュマンとニヒリズムの克服 (単著)
(2008年 3月 出版予定 関西大学出版部)

学術論文

Albert Camus と L'Acte gratuit (1969年 12月 LUTECE 5号 (大阪市立
大学フランス文学会誌))

Albert Camus とキリスト教 (1970年 3月 天理大学報 第66輯 (学術
研究会誌))

「単純で偉大な images」と反抗のモラル — A.CAMUS の場合 (1970年
11月 関西大学文学論集 第20巻第2号)

Albert Camus の Adaptations について (その 1) (1973年 2月 関西大学
文学論集 第22巻第3号)

「不条理」の自由 — 生への試論 Albert Camus の場合 (1975年 12月
仏語仏文学 第8号 (関西大学フランス文学会誌))

Albert Camus の Adaptations について (その 2) (1977年 3月 関西大学
文学論集 第26巻第4号)

Révolte dans les Asturies — A.Camus の初期試作戯曲 (1979年 2月 関
西大学文学論集 第28巻第3号)

『幸福な死』 — 一つの文学的出発 (1979年 10月 関西大学文学論集
第29巻第2号)

ジャーナリストとしてのカミュ(その1) (1981年2月 関西大学文学論集 第30巻第3号)

ジャーナリストとしてのカミュ(その2) (1985年1月 関西大学文学論集 第34巻第2号)

ジャーナリストとしてのカミュ(その3) (1986年2月 仏語仏文学第15号 (関西大学フランス文学会誌))

カミュの『異邦人』解釈 — ムルソーの異邦性 — (その1) (1988年3月 関西大学文学論集 第37巻第4号)

カミュの『異邦人』解釈(その2) (1989年12月 仏語仏文学 第18号 (関西大学フランス文学会誌))

カミュの『異邦人』解釈 — 主人公=語り手、読者、作者(その3) (1992年1月 関西大学文学論集 第41巻第2号)

カミュの『異邦人』におけるユーモア的側面 — カミュの『異邦人』解釈(その4) (1994年6月 Etudes Camusiennes カミュ研究 創刊号 (日本カミュ研究会))

『異邦人』形成の時期と『異邦人』 — カミュの『異邦人』解釈(その5)の① (2000年12月 仏語仏文学 第27号 (関西大学フランス文学会誌))

国際化と異文化理解(2001年7月 関西大学文学論集 第51巻第1号)

『異邦人』形成の時期と『異邦人』 — カミュの『異邦人』解釈(その5)の② (2003年2月 仏語仏文学 第30号 (関西大学フランス文学会誌))

アルベール・カミュの文学と思想 — 文学的アンガージュマンの視点から (2003年9月 関西大学博士号 (文学) 取得論文(仮綴製本))

カミュの戯曲『正義の人々』Les Justes再読 (2004年1月 関西大学文学論集 第53巻第3号)

カミュの戯曲『誤解』と『戒厳令』 (2005年1月 関西大学文学論集 第54巻第3号)

A.カミュの『シジフォス神話』再考 (2005年12月 関西大学文学論集 第55巻第3号)

A.カミュの『反抗の人間』再評価 (2006年3月 仏語仏文学 第32号)

(関西大学フランス文学会誌))

カミュの「不条理戯曲」『カリギュラ』(2007年1月 関西大学文学論集 第56巻第3号)

カミュとレジスタンス(その1)(2007年10月 関西大学文学論集 第57巻第2号)

A.カミュの小説『ペスト』(2007年12月 関西大学文学論集 第57巻第3号)

学会発表

Albert Camusの“王国”について(1967年11月 日本フランス語フランス文学会関西支部会)

Albert Camusの*L'Exil et le Royaume*について(1968年6月 日本フランス語フランス文学会全国大会)

Albert Camusの*L'Exil et le Royaume* について(レジュメ)(1968年6月『フランス語フランス文学研究』No.13)

カミュの『異邦人』におけるユーモアの側面(1994年5月 日本カミュ学会)

カミュの戯曲『正義の人々』*Les Justes*再読(2003年12月 関西大学フランス語フランス文学会)

A.カミュの『反抗の人間』再審(2005年12月 関西大学フランス語フランス文学会)

紀行文

カミュの墓とルールマランの思い出(単著)(1982年11月『流域』10号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(1)(単著)(1990年3月『周辺』5号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(2)(単著)(1990年10月『周辺』6号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(3)(単著)(1991

年3月『周辺』7号)

カミュ『婚礼』の地 チパザ探訪記(単著)(1991年7月『流域』30号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(4)(単著)(1991年9月『周辺』8号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(5)(単著)(1992年3月『周辺』9号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(6)(単著)(1992年10月『周辺』10号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(7)(単著)(1993年3月『周辺』11号)

アルジェとオラン — A.カミュの小説の舞台を訪ねて(8)(単著)(1994年3月『周辺』13号)

評論

読書の誘い「大江健三郎と椎名誠」(1988年4月 生協『書評』No.83)

エッセイ

「読書の方法」(1979年4月 生協『書評』No.49)

「限られた時間、集中してやろう」(1983年7月『葦』No.65 関西大学教育後援会)

アルジェの思い出(1990年3月 関西大学仏文学会会報 第6号)

東欧諸国の変革に思う(1992年3月 関西大学仏文学会会報 第8号)

書評

J. ヴィエ著 森本・津川訳『ジイド』— 作家と人間叢書(ヨルダン社)(1989年2月『朝日ジャーナル』1989年2月 24号)

J. ヴィエ著 森本・津川訳『ジイド』— 作家と人間叢書(ヨルダン社)(1989年4月『本のひろば』1989年4月号)

山村嘉己著『詩人と女性』— フランス象徴主義の裏側 — (関西大学

出版部) (1999年6月 関西大学人権問題研究室室報)

新刊紹介

植松・山村著『性差と文化』(玄文社 1988年10月 関西大学通信
第176 10頁の一部)

山村嘉己他著『文化のなかの女と男』(嵯峨野書院 1992年10月 関
西大学通信 第212 12頁の一部)

乾 昌明著『スケッチ・パリを歩きま専科』(関西大学出版部 1999
年11月 新聞『関大』第494 6頁の一部)

書誌

アルベール・カミュの書誌(その1) (1994年11月『周辺』14号)

アルベール・カミュの書誌(その2) (1995年10月『周辺』15号)

アルベール・カミュの書誌(その3) (1996年5月『周辺』16号)

アルベール・カミュの書誌(その4) (1996年11月『周辺』17号)

翻訳

M.-G.Barrier著(Nizet)アルベール・カミュの『異邦人』における物
語技法①(1996年11月『周辺』18号)

M.-G.Barrier著(Nizet)アルベール・カミュの『異邦人』における物
語技法②(1997年11月『周辺』19号)

M.-G.Barrier著(Nizet)アルベール・カミュの『異邦人』における物
語技法③(1998年5月『周辺』20号)

M.-G.Barrier著(Nizet)アルベール・カミュの『異邦人』における物
語技法④(1998年11月『周辺』21号)

M.-G.Barrier著(Nizet)アルベール・カミュの『異邦人』における物
語技法⑤(2000年11月『周辺』22号)

調査報告

LLA第17回全国大会に参加して（1979年9月 関西大学視聴覚教育第3号（山崎千尋氏と共同執筆））

「大学教育と女性」— 1993年関西大学学生の意識調査「5. 関西大学の場合における当面の課題」のうち「5-1 記述回答にみる関西大学の当面の課題」を分担執筆（調査報告）（1994年4月 関西大学『人権問題研究室紀要』第29号）

フランス語テキスト編纂

『たのしい文法読本』 Nouvelle Lectures Simples 重本利一・前原昌仁・平田重和著（第三書房 1972年）

『新標準ふらんす語』 Nouveau manuel de grammaire française 石井晴一・植田祐次・榎木栄一・小林茂・筑紫文耀・西永良成・平田重和著（駿河台出版社 1979年）

『展開文法読本』 Cours moyen de grammaire française accompagné de lectures 山村嘉己・重本利一・小川雅也・平田重和著（白水社 1980年）

『徹底フランス語初級 — 読本コース』 山村嘉己・小川雅也・平田重和・米谷巍洋（朝目出版 1981年）

『身近なフランス語 — 初級読本 — 』 Le français pour nous 山村嘉己・平田重和・川神樽弘・野浪嗣生著（白水社 1983年）

『バラグラフ式フランス文法』 Le Français par étapes 小川雅也・平田重和・山村嘉己著（駿河台出版社 1985年）

『オロール — フランス語文法の基礎』 AURORE 山村嘉己・平田重和著（三修社 1988年）

『新標準ふらんす語スタンダード版』 Nouveau petit manuel de grammaire française 石井晴一・植田祐次・榎木栄一・小林茂・筑紫文耀・西永良成・平田重和著（駿河台出版社 1990年）

『ルネのアルバム』 Album de René 平田重和・川神樽弘・田中寛一・神垣享介著（芸林書房 1995年）